

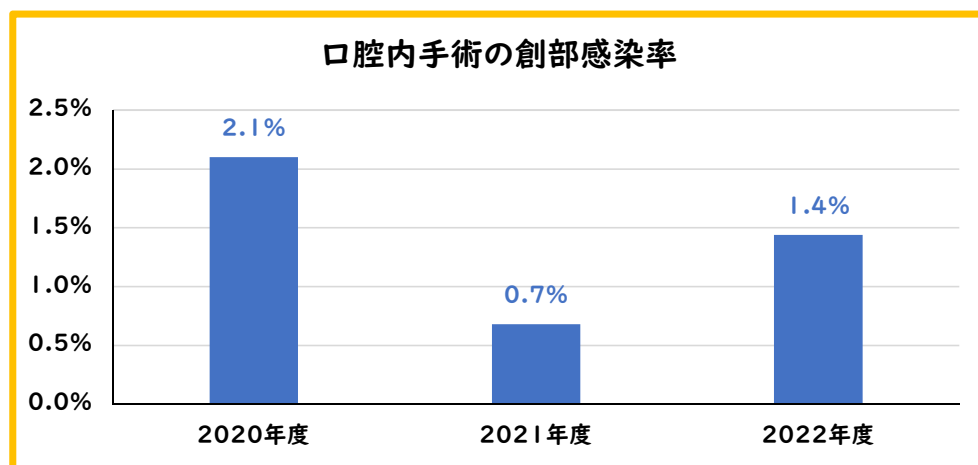
33 口腔内手術の創部感染率

歯科口腔外科

◆解説◆

創部感染は手術および術後管理中に発生し治療の成否や入院期間の延長につながる可能性のある合併症です。入院中の患者の創部感染率を下げることは、より安定した治療成績と入院期間の短縮に寄与すると考えます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

2020年度、2021年度、2022年度の全手術数における排膿を伴い外科的介入を必要とした術後創部感染患者の割合はそれぞれ2.1%、0.7%、1.4%でした。

創部感染を生じたものはいずれも局所進行癌で手術侵襲が大きいものや、炎症性疾患のように術前から感染を伴っていたもの、糖尿病による易感染性を有するものでした。

◆定義◆

歯科口腔外科の全手術数(入院全麻手術症例)(=分母)における創部感染患者(排膿を伴い外科的介入を必要とした症例)(=分子)の割合